

# 平成22年度〈学校要覧〉

## I 学校の実態

### 1. 沿革

- 昭和 42. 4. 1 市川市立第一中学校より分離、開校  
同校舎の一部を借用し授業開始  
生徒336名・職員16名  
初代 能勢一雄校長着任
43. 3.10 新校舎移転(現在地)
44. 3. 8 校舎・体育館落成式挙行
44. 3.15 第1回卒業式挙行
57. 4 市川市立大洲中学校を分離
- 平成 7.11.10 文部省指定エイズ教育推進中心校  
研究発表
- 11～12 文部省指定人権教育研究指定校
12. 4. 1 文部省指定マルチメディア活用事業参加校
- 12～13 県指定中学校社会体験学習モデル事業  
「生き生き体験地域が先生」推進校
16. 4. 1 情緒障害児学級開設
16. 7.15 県指定船橋地域中学生・高校生との交流会
- 19.11.14 学力向上推進校公開授業
20. 4. 1 第13代校長、丸山賢治着任
22. 4. 1 第14代校長、山元幸恵着任

### 2. 施設の概要

- (1)校地 17, 463㎡
- (2)教室 普通教室 19  
特別教室 10  
(理科・技術・家庭・音楽・美術・  
図書室・コンピュータ室・カウンセラー室)
- (3)管理室 3(校長室・職員室・事務室)
- (4)その他 ランチルーム1・会議室2・配膳室5・  
特別活動室1・視聴覚室1・音楽  
準備室1・学年教材準備室3・保  
健室1・用務員室1・特学作業室1
- (5)体育館

### 3. 学区の特色

東京近郊のベッドタウンと市内商店街の中心としての二つの顔を持ち、多くのマンションやアパートが所在している。共働きの家庭の割合が高い。  
保護者の教育への関心は高く、学校への要望も多様である。PTAをはじめ地域の方々は協力的で、学校の取組に理解と支援をいただいている。

### 4. 在籍生徒数 (H22.6.23 現在)

学年	学級	男	女	計
1学年	5	86	84	170
2学年	5	86	82	168
3学年	5	87	67	154
のぞみ(知的)	2	6	4	10
ひとみ(情緒)	1	4	1	5
計	19	269	237	507

## III 学校経営の方針

### 1. 学校教育目標

「自主」自ら学び創造的に考える生徒  
「協力」協力し、励まし合う生徒  
「継続」心身ともに健康で何事にもねばり強く  
取り組む生徒

### 2. 本年度の経営重点

- (1) 確かな学力を培うために
- ・「わかる授業」から「一人一人の良さを引き出し生かす授業」を推進し、学ぶ喜び(成就感・達成感)のある授業を目指す。
  - ・一人一人の教師の授業力向上を目指す。
  - ・自ら学ぶ学習力の育成を目指す。
- ①少人数授業、選択教科の工夫改善を推進する。  
②評価の工夫を推進する。  
③図書館活用・朝読書を推進する。
- (2) 豊かな体験を実現するために
- ・「挨拶」と「美しい言葉」から豊かな人間関係づくりを推進する。
  - ①体験学習を核に道徳・特別活動・総合的な学習を連携させた道徳教育の充実を図る。
  - ②小集団活動による教育活動を推進する。
  - ③美しい日本語の使い手の育成を目指す。
  - ④生徒会活動の活性化を図る。
  - ⑤特別支援(交流)教育の推進を図る。
- (3) 健康で安全な生活を確立するために
- ・八中ヘルシープラン(自己目標達成カード)の活用による主体的な健康管理を推進する。
  - ①心身の健康及び体力・運動能力の向上を図る。
  - ②食育を含めた望ましい生活習慣を確立する。
  - ・セーフティスクールプランの作成と安全教育、安全管理を推進する。
  - ①危機管理意識を高揚させ訓練を実施する。
  - ②交通安全の徹底と規律ある校内生活の確立を図る。
- (4) 学ぶ喜び、感動のある質の高い教育活動を展開するために
- ①職員間で教育活動目標及び生徒情報を共有する。
  - ②学び合う職員集団を形成する。
- (5) 保護者や地域の方に信頼される、開かれた学校であるために
- ①学校評価、学校評議員を活用する。
  - ②開かれた学級、学年、学校経営を推進する。
  - ③小・中学校の連携と協調を推進する。

### 3. 研究

#### <研究主題>

生徒が主役の学校づくり

～「確かな学力」と「豊かな体験」が実現できる学校を目指して～

#### <研究内容>

##### (1) 確かな学力

「わかる授業」「一人ひとりの良さを引き出し生かす授業」を達成するための仮説を設定する。

具体的な指導法を工夫改善する。

検証授業を行う。

##### (2) 豊かな体験

豊かな人間関係づくり、道徳教育、読書教育、教育相談活動で「大きな声で心をこめて挨拶ができる」「いじめがなく仲良く生活できる」「適切な言葉遣いができる」生徒を育成する。

#### <研究・研究形態>

・平成22・23年度、市川市の学力向上推進校の指定を再度受け研究を進める。

少人数指導、習熟度別指導の他、指導法の工夫改善、指導と評価の一体化など様々な視点からアプローチし、一人ひとりが存在感をもてる授業、一人ひとりの意欲を引き出す授業を目指した研究を進める。

・2回の検証授業の実施

国語	豊かな言語感覚を持ち、目的や意図に応じて、自ら表現できる生徒を育てる。
社会	社会的事象に問題意識を持ち、社会的思考を身に付けた生徒を育てる。
数学	生徒の多様な考えを引き出し、生徒が主役となって数学を創っていくような授業展開を通して、基礎基本の定着を図る。
理科	実験・観察を通して自ら考える力を持った生徒を育てる。
音楽	様々な音楽経験を通し、また身近にある音楽を再認識することによって、音楽を愛好する心情を高める。
美術	創造する楽しさを体験させ、個性ある自己表現ができる生徒を育てる。
保健	学習指導方法の工夫により、主体的に活動できる生徒を育成する。
技家	自ら課題を持ち、実践活動を通して課題を解決する力を育む。
英語	英語を理解し、英語で表現する力を育てる。
道徳	道徳の授業や日常の生活を通して、世の中には様々な物の見方や考え方があることを理解させるとともに、人の個性や立場を尊重し、それをもとにして、生徒たちにとってのよりよい価値観の形成を目指す。
学活	「自己指導力(判断する力と実行する意欲)」を高め、主体的に行動する生徒を育成する。
総合	友達と協力し合いながら、色々な体験学習を通して「自分の生き方」について考えを深めることができる生徒を育成する。
情緒	ソーシャルスキルを高めることによって、より良い人間関係を築くことができる生徒を育てる。
知的	目標を意識して自発的に活動できる生徒を育てる。

### 4. 教科・領域別研究主題

## IV. 教育課程の編成

### <選択授業>

学年	学期	国	社	数	理	音	美	体	技	英	道	特	選	総合	計
1年	前期	4	3	4	3	1	1	3	2	3	1	1	0	2	28
	後期	4	3	4	3	1.5	1.5	2	2	3	1	1	0	2	28
2年	前期	3	3	3	4	1	1	3	2	3	1	1	1	2	28
	後期	3	3	3	4	1	1	2	2	3	1	1	2	2	28
3年	前期	3	3	4	3	1	1	2	1	3	1	1	1	4	28
	後期	3	2	4	3	1	1	3	1	3	1	1	2	3	28

1年間を前後期に分け、1年生は選択を実施しない。2年生は前期1コマ、後期2コマを実施。3年生は同様に前期1コマ、後期2コマで実施。

#### <少人数授業>

「数学」「英語」「保健体育」「総合的な学習の時間」において年間通して、少人数授業を実施する。

#### <総合的な学習>

テーマ「自分づくり」—SELF(CREATION OF MYSELF) 友達と協力し合いながら、様々な体験学習を通して、自ら課題を見つけ、自分の生き方について考えを深め、実践していく学習。SELF は次の意味を含む。S:Search E:Experience L:Life Planning F:with Friends 以上のテーマを基に、3年間の流れを確立し、地域学習、進路学習、福祉・人権学習、環境学習、マルチメディア活用学習について取り組むようにする。なお、道徳や特別活動とのセット化によって、より実効性のある教育活動への工夫、改善を図っている。